

この度は当社商品をお買い上げ頂き有難うございます。
本書は製品を正しくご使用頂く使い方・製品説明及び注意事項を記載して
おります。必ず本書をお読みになってから製品の取付作業、ご利用を行って
下さい。

警告 下記記載の内容をお守り下さい。お守り頂かないと
火災・感電・故障・怪我の原因となります。

パソコンの内部に部品を取り付ける場合は、パソコンの電源及び周辺機器
の電源をOFFにしてから取付作業を行って下さい。

パソコンご使用直後はパソコン内部に触れないで下さい。パソコン内部に
は高温になる部分があり、冷めるまでお待ち下さい。

液体・異物が入らないように注意して下さい。また、本製品を高温・多湿の場
所で使用しないで下さい。

本製品を取り付ける場合は、本書とそれら取付けるパソコン及び周辺機器
の取扱説明書を合わせてご確認ください。

異臭・異音がある場合はただちに使用を止め、当社までお問合せ下さい。

本製品は精密機器です。本製品の落下、強い衝撃、静電気を与えないように作業
して下さい。

本製品に触れる前に身体の静電気を取り除いて下さい。静電気が発生しにくい
衣類を身につけて作業を行って下さい。本製品を接続する前に必ずパソコンデ
ータのバックアップを行って下さい。

■下記のような場所での使用を必ず避けて下さい。
強い磁気の影響を受ける場所/静電気が発生する場所/振動を受ける場所/火気
周辺、高温多湿、結露が発生する場所/直射日光を受ける場所/平らではない場
所/漏電・漏水の可能性がある場所/電子機器の影響があつてはならない場所(
病院等)/その他、常識では考えられない場所での使用はお止め下さい。

本製品の故障又はその使用上生じた他製品の破損・損害及びデータ破損につ
きましては一切の責任を負いません。必ず付属ケーブルに異常がないかを確認
頂くと共にデータバックアップを行って下さい。

特定の機器でのみ発生する不具合につきましては保証対象外となります。
本製品を廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って廃棄して下さい。
最新情報は当社製品サイトにて更新情報があり次第、ご案内していく予定です。

※取付時はパソコンの電源をOFFにし、内部温度が冷めてから取付を行って下さい。

【製品詳細説明】

【コネクタ形状】



アクセスLED用ピンヘッダ

ブートドライブ(起動ドライブ)を本製品に
接続されてご利用される場合はケース側の
アクセスLEDに接続して下さい。
(PCケースのアクセスLEDが点灯します)

PCI Expressスロット差込口

差込部分を指で触れますと故障の原因
になりますので触れないようにご注意下さい。

製品名	TWIN CAM (RAID搭載モデル)
製品型番	SD-SA3132-2IR (B)
接続スロット	PCI Express x1(1レーン) スロット
インターフェース	S-ATA II ×2ポート
搭載チップ	Silicon Image3132
ポート数	内部2ポート
転送速度	最大3Gb/s転送 (S-ATA II 理論値)
RAID設定	RAID0(ストライピング) / RAID1(ミラーリング)
その他	Native Command Queueing(NCQ)対応
対応OS	Windows 2000 / XP / Vista / 7 (各64bit対応OS)
付属品	ボード本体 / ドライブCD(8cm) / 取扱説明書 / 製品保証書

RAID設定を行う上で必要な機器とHDD

1.ご利用のパソコンでRAIDドライバを読み込ませる為、下記の機器が必要です。
RAID構築時にはフロッピーとフロッピードライブが必要となります。
お客様にてご用意下さい。Windows Vista/Windows 7はUSBメモリで行えます。

2.RAID構築を行う場合は下記の条件のHDDが必要です。

- ・同一メーカー、同一型番のHDD
(メーカーや容量、回転数が異なるとRAID構築出来ません)

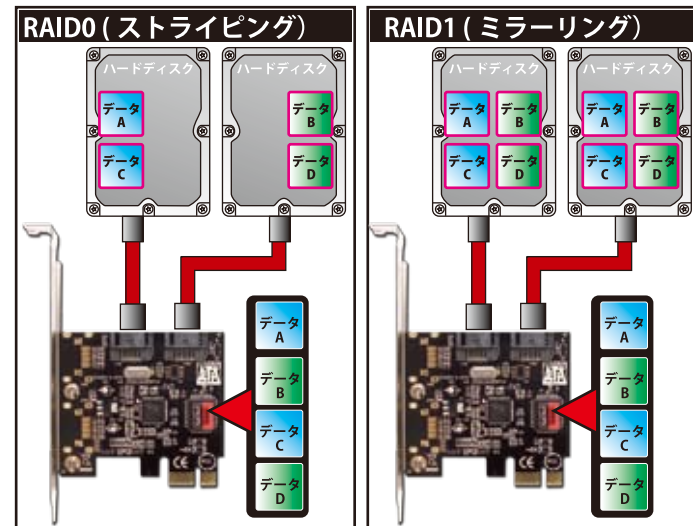
本商品はRAIDに2つの機能があります。

■RAID 0 (ストライピング)[左図]

2つの同じハードディスクを接続する事でデータを効率よくアクセスし高速化実現する方法

■RAID 1(ミラーリング)[右図]

2つの同じハードディスクを用いて2つのハードディスクに同じデータを書き込みを行う方法



S-ATA II の機能であるNCQ対応

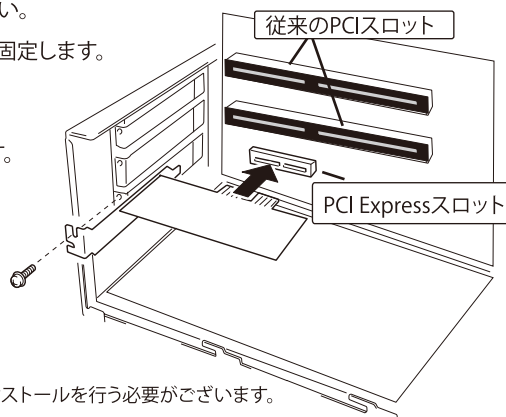
NCQとはS-ATA IIの新特徴であるハードディスクに効率の良い順序で最適化のアクセ
スする機能です。NCQ機能で動作するには接続するマザーボード、ハードディスクも対
応している事が条件となります。

NCQ:Native Command Queueing

RAID構築を行わない場合は3ページ目の[本製品をパソコン本体に接続する]を
行った後、9ページ目のドライバインストールを行って下さい。

【本製品をパソコン本体に接続する】 RAID構築を行う場合はページ下のRAID構築の準備を先に!

1. 本製品を接続するパソコン及びパソコンに接続している周辺機器の電源をOFF (パソコン本体を先にOFFにします)にします。
2. パソコン本体に接続しているケーブルを取り外します。
3. パソコン本体のカバーを取り外します。カバーの取り外し方は各メーカーにより異なります。必ずご使用のパソコンメーカーの取扱説明書をご参照下さい。
4. 本製品をPCI Express x1スロット部分とケースのブラケット部分の位置を確認し、ケース側のブラケット取り外します。取外し時にはネジでブラケットが止まっております。このネジは本製品をケースと接続する時に必要となります。
5. PCI Express x1スロットに本製品を差し込みます。※PCI Express x1スロットには向きがございませぬ。溝の部分を合わせて平行に奥まで差し込んで下さい。
6. 差込後、本製品とケース側を先ほどのネジを用いて固定します。
7. 3で外したケースを元のように取り付けます。
8. 2で取り外したケーブル類を元のように取り付けます。



以上で接続作業は終了です。

※:従来のPCIスロットには接続出来ません。

図のスロットの位置は例です。スロット位置に関してはマザーボードにより異なります。

本製品はパソコンの電源ON後、各OSでそれぞれドライバインストールを行う必要がございませぬ。

RAID構築の準備【インストール用フロッピーの用意(vistaはUSBメモリ)】Windows2000/XP/Vista



①付属のドライバCDを光学ドライブにセットしマイコンピュータをダブルクリック。



②ドライバCDをセットしたドライブをダブルクリック。



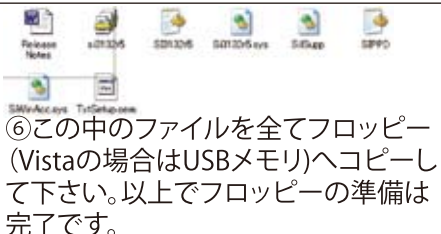
③Silicom Imageをダブルクリック。



④SIL3132RAIDをダブルクリック。



⑤Windowsをダブルクリックします。Win_32bit:32bit OSはこちらのフォルダを Win_64bit:64bit OSはこちらのフォルダをダブルクリックして下さい。



⑥この中のファイルを全てフロッピー (Vistaの場合はUSBメモリ)へコピーして下さい。以上でフロッピーの準備は完了です。

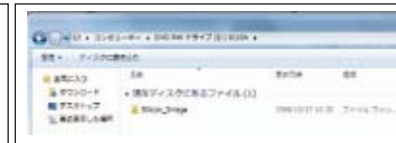
RAID構築の準備【インストール用フロッピーの用意】Windows7

Windows7はFDDでは対応できない場合がございますのでUSBメモリをご利用下さい。

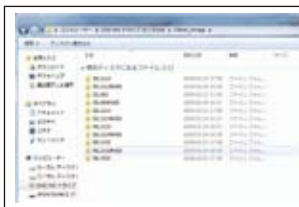
最初にUSBメモリを用意し、中身は空にし、パソコンに接続しておいて下さい。



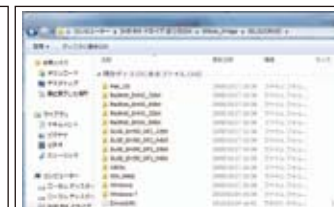
①マイコンピュータをクリックしてドライバCDが入っている、光学ディスクドライブをダブルクリックします。



②ディスク内にある「Silicon_Image」をダブルクリックします。



③「SIL3132RAID」をダブルクリックします。



④「Windows7」をダブルクリックします。



⑤32bit OSをご使用の場合は「Win_32bit」64bit OSをご使用の場合は「Win_64bit」をUSBメモリ Win_xxbit」フォルダごと、コピーして下さい。

【RAIDカードBIOS】

※RAID BIOSが今後更新された場合、若干表示が異なる場合がございます。

パソコン電源投入直後Windowsロゴ画面が表示される前にF4キーを押して下さいと英語で表示されますのでその際にF4キーを押して下さい。

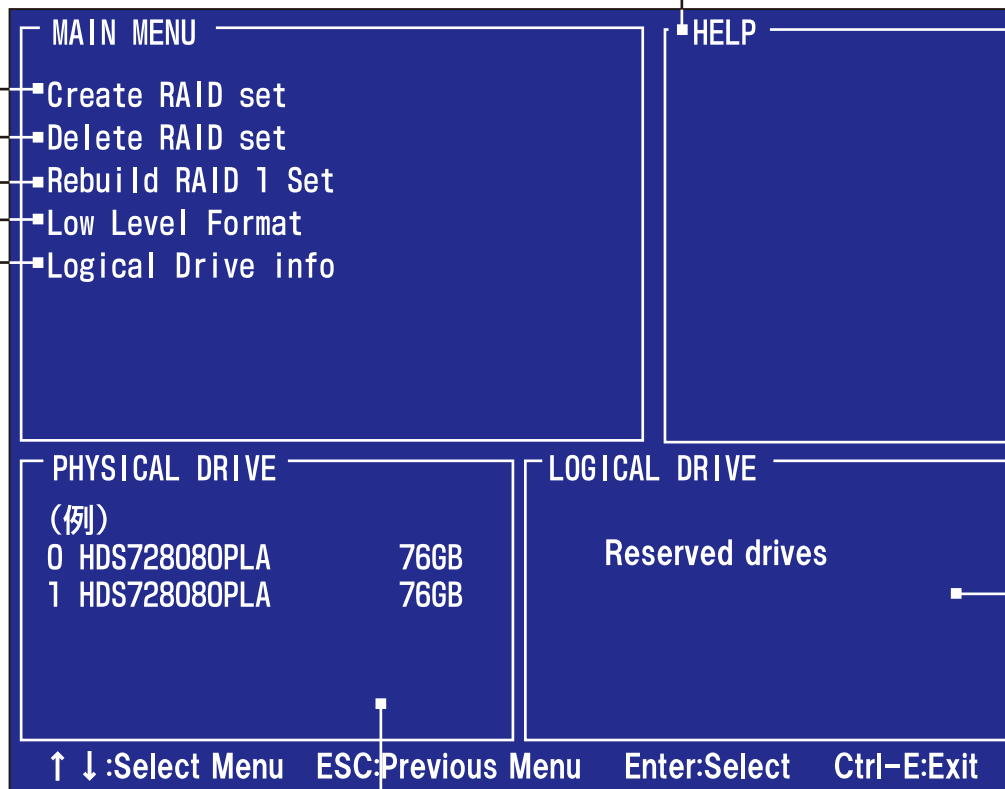
❗ 表示の時間は数秒ですので押す準備をしておいて下さい。

BIOS画面より出る際はCtrlキーとEキーを一緒に押して下さい。

Are you sure to exit (Y/N)? とメッセージが出ますのでYキーを押して頂いて終了です。

MAIN MENUで選択している項目に対しての説明が表示されます。

RAIDカード設定表示例



RAID構築選択メニュー

- RAID0(ストライピング)→6ページ目
- RAID1(ミラーリング)→7ページ目

Create RAID setで構成したRAIDを解除します。

❗ 解除しますと再度同じRAID setを構成されましてもデータの再現はできませんのでご注意ください。

RAID 1で構成されている場合に時に使用する項目です。スペアドライブをセットし構成を復元させてます。

三種類のフォーマット方法より選択できます。

- Format 1st Part
- Secure Format
- Quick Format

構成されている情報が見えます。

物理的に接続されているHDDを表示します。

構成語のHDDの内容を表示します。
(例) RAID 0の時 Sil Raid 0 Set
RAID 1の時 Sil Raid 1 Set
CONCATENATIONの時
Sil Concatenation

【RAID0の設定】ストライピング

5ページ目をお読み頂いてRAIDカードBIOSに入ってください。
BIOS画面よりMAIN MENUのCreateRAID setを選択してEnterキーを押して下さい。

RAID 0
RAID 1 SPARE DRIVE
CONCATENATION

左記の表示が出ますのでRAID 0を選択してEnterを押して下さい。

Auto configuration
Manual configuration

が表示されましたらAuto configurationを選択して下さい。

Please input the raid size : ■ ■ GB

と表示がでますので任意の容量の数値を選択して下さい。

Are You Sure (Y/N) のメッセージが表示されますので

間違いが設定に間違いがなければYキーを押して下さい。

以上でRAIDカードBIOSでの設定は終了です。

CtrlキーとEキーを一緒に押すとAre you sure to exit(Y/N)?

と表示されますのでYキーを押してRAID BIOSより出て下さい。

次にOSでのインストールの手順に移ります。

マザーボードBIOSの設定でCDブートにして頂き、OSのインストールを開始してください。

開始直後に画面下部にPressF6とメッセージが表示されますのでF6キーを押してください。

(この表示時間も短いので押す準備をしておいてください。) (XP/2000の場合のみ)

無事F6キーが押されてもしばらく画面が自動的に進行します。

しばらくすると画面がとまり画面下部に以下のようなメッセージが

S=Specify Additional Device ENTER=Continue F3=Exit

と表示がでます。

この際にSキーを押してください。

画面にinto Drive Aと表示がでますので3ページ目で用意したフロッピーをセットしEnterキーを押して下さい。(USBメモリの場合は『ドライブの読込』をクリック後、『参照』をクリックします。

画面が切り替わり次の表示になります。

画面が切り替わり次のような表示になります(ドライブの更新により変わる場合がございます)

Windows 2000 / XPの場合

Silicon Image Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windows XP/Sever2003
Silicon Image Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windows2000

Windows Vistaの場合

Silicon Image Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windows

Windows 7の場合

Silicon Image Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windows 7

OSを選択後Enterキーを押して下さい。

次に画面中央部にSiliconImage Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windowsと表示され

画面下部に『ENTER=CONTINUE』と表示されますので『Enterキー』を押して下さい。

以降は通常通りのOSのインストールをして頂きOSインストールは終了となります。

【RAID1の設定】ミラーリング

5ページ目をお読み頂いてRAIDカードBIOSに入ってください。
BIOS画面よりMAIN MENUのCreateRAID setを選択してEnterキーを押して下さい。

RAID 0
RAID 1 SPARE DRIVE
CONCATENATION

左記の表示が出ますのでRAID 0を選択してEnterを押して下さい。

Auto configuration
Manual configuration

が表示されましたらAuto configurationを選択して下さい。

Please input the raid size : ■ ■ GB

と表示がでますので任意の容量の数値を選択して下さい。

Are You Sure (Y/N) のメッセージが表示されますので

間違いが設定に間違いがなければYキーを押して下さい。

以上でRAIDカードBIOSでの設定は終了です。

CtrlキーとEキーを一緒に押すとAre you sure to exit(Y/N)?

と表示されますのでYキーを押してRAID BIOSより出て下さい。

次にOSでのインストールの手順に移ります。

マザーボードBIOSの設定でCDブートにして頂き、OSのインストールを開始してください。

開始直後に画面下部にPressF6とメッセージが表示されますのでF6キーを押してください。

(この表示時間も短いので押す準備をしておいてください。) (XP/2000の場合のみ)

無事F6キーが押されてもしばらく画面が自動的に進行します。

しばらくすると画面がとまり画面下部に以下のようなメッセージが

S=Specify Additional Device ENTER=Continue F3=Exit

と表示がでます。

この際にSキーを押してください。

画面にinto Drive Aと表示がでますので3ページ目で用意したフロッピーをセットしEnterキーを押して下さい。(USBメモリの場合は『ドライブの読込』をクリック後、『参照』をクリックします。

画面が切り替わり次の表示になります。

画面が切り替わり次のような表示になります(ドライブの更新により変わる場合がございます)

Windows 2000 / XPの場合

Silicon Image Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windows XP/Sever2003
Silicon Image Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windows2000

Windows Vistaの場合

Silicon Image Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windows

Windows 7の場合

Silicon Image Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windows 7

OSを選択後Enterキーを押して下さい。

次に画面中央部にSiliconImage Sil3132 SoftRAID5 Controller for Windowsと表示され

画面下部に『ENTER=CONTINUE』と表示されますので『Enterキー』を押して下さい。

以降は通常通りのOSのインストールをして頂きOSインストールは終了となります。

【拡張カードとしての設定】

5ページ目をお読み頂いてRAIDカードBIOSに入って下さい。
BIOS画面よりMAIN MENUのCreateRAID setを選択してEnterキーを押して下さい。

RAID 0
RAID 1
SPARE DRIVE
CONCATENATION

上記の表示をでますのでCONCATENATIONを選択してEnterキーを押して下さい。

次に

1
2

が表示されましたら1台でのご使用の方は1を、
2台を連結してご使用の方は2を選択してEnterキーを押して下さい。
BIOS MENUの左下PHSICAL DRIVEより任意のHDDを選択してEnterを押して下さい。

Are You Sure (Y/N) のメッセージが表示されますので
間違いが設定に間違いがなければYキーを押して下さい。

以上でRAIDカードBIOSでの設定は終了です。
CtrlキーとEキーを一緒に押すとAre you sure to exit(Y/N)?
と表示されますのでYキーを押してRAID BIOSより出て下さい。

[リビルドに関して]

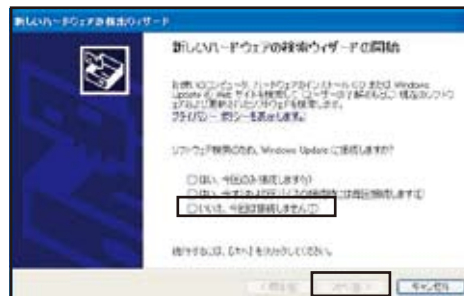
RAID構築が壊れて再構築(リビルド)を行う場合は、当社ウェブサイトをご確認下さい。

該当商品ページ又はドライバダウンロードサイトにPDF形式でUPしています。

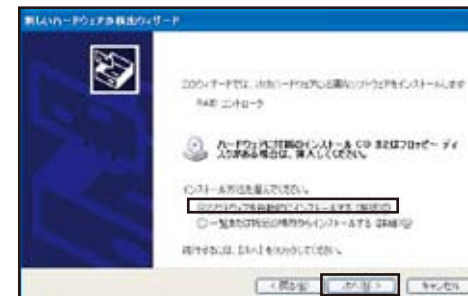
【ウェブサイト】:<http://www.area-powers.jp>

Windows2000/XPの場合のみ(Vista/7は自動認識となります)

次にOSでの認識設定になります。
Windowsを立ち上げますとPlug&Playにてカードの認識が始まります。



- ① 『いいえ、今回は接続しません』を選び『次へ』をクリックして下さい。
このとき光学式ドライブに弊社製品
付属のドライバCDをセットして下さい。



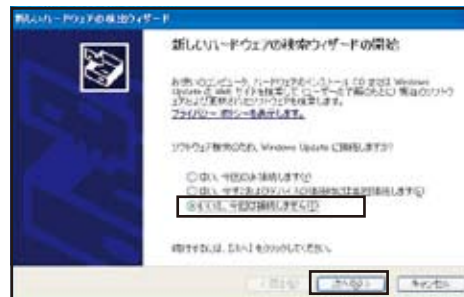
- ② 『ソフトウェアを自動的にインストールする』を選び『次へ』をクリックして下さい。



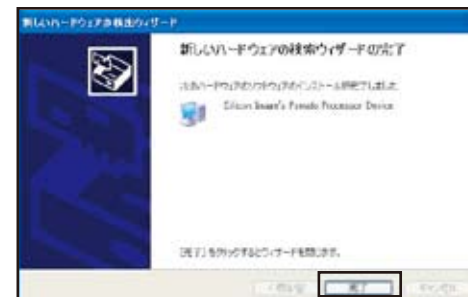
- ③ 『ソフトウェアを自動的にインストールする』を選び『次へ』をクリックして下さい。



- ④ 『完了』をクリックして下さい。
引き続き次のドライバインストールに入ります。



- ⑤ 『いいえ、今回は接続しません』を選び『次へ』をクリックして下さい。



- ⑥ 『完了』をクリックして下さい。
以上で終了です。